

国内医薬品・国内食品業界初^{※1} タイの生産拠点で「再生可能エネルギー証書」導入 ～電力使用に伴う GHG^{※2} 排出量を約 25%削減～

キリンホールディングス株式会社（社長 磯崎功典）の子会社である協和発酵バイオ株式会社（社長 南方健志、以下協和発酵バイオ）は、タイ国ラヨーン県のTHAI KYOWA BIOTECHNOLOGIES CO., LTD.（以下 THAI KYOWA）に、東京電力エナジーパートナー株式会社（社長 秋本展秀）のグループである、TEPCO Energy Partner International(Thailand) Co.,Ltd.より「再生可能エネルギー証書（I-REC）」を導入し、使用電力の一部を再生可能エネルギー由来で運営します。これにより、同施設の電力使用に伴う GHG 排出量は約 25%削減されます（GHG 排出量年間 5,300t の削減）。

※1：タイにおいて「I-REC スタンド」が認証する再生可能エネルギー証書

※2：温室効果ガス

協和発酵バイオは、将来にわたる世界的なヒトミルクオリゴ糖（以下 HMO^{※3}）の需要増加を見据えて、THAI KYOWA に HMO 製造設備を新設し、2022 年夏ごろに稼働予定です。HMO については、協和発酵バイオが世界で初めて^{※4} 工業レベルでの生産システムを構築しており、その事業化は、同社の中長期的な成長戦略の核となります。事業戦略上重要な拠点である THAI KYOWA において「再生可能エネルギー証書（I-REC）」を導入することで、事業の成長と環境負荷の低減の両立を図ります。

※3：HMO=Human Milk Oligosaccharides

※4：Tetsuo Endo et. al.,Appl. Microbiol. Biotechnol. 53, 257-261 (2000)

当社は、「2030 年までに 2015 年比で、グループ全体の Scope1 と Scope2 の合計を 30%、Scope3 についても同じく 30%削減する」という高い目標を掲げ、2017 年に SBT（Science-based Targets）^{※5} イニシアチブ（SBTi）^{※6} の承認を取得しています。徹底した省エネ活動に加えて、燃料転換の実施、ヒートポンプの導入、太陽光発電や風力発電、水力発電由来の電力の活用、および排水処理設備から得られるバイオガスを利用した発電などの再生可能エネルギーの活用、容器軽量化や共同配送を含むバリューチェーンでの GHG 削減の取り組みを進めています。海外では、グループ会社のライオンで、2020 年 5 月にオーストラリア初の大規模なカーボンニュートラル認証を取得しました。さらに、本年 6 月には「Business ambition for 1.5°C」に署名しました。これは長期的な GHG 排出量ネットゼロの実現に向け、中期的な GHG 削減目標を上方修正することを表明するものです。2020 年中にこの新たな目標に対して、SBTi の承認を取得する予定です。

また、直近の本年 11 月には「RE100^{※7}」に加盟し、2040 年までに使用電力の再生可能エネルギー 100%化を掲げました。THAI KYOWA における「再生可能エネルギー証書（I-REC）」の導入は、この目標達成に向けた取り組みの一環となります。

※5：パリ協定（世界の気温上昇を産業革命前より 2℃を十分に下回る水準(Well Below 2℃)に抑え、また 1.5℃に抑えることを目指すもの）が求める水準と整合した、5 年～15 年先を目標年として企業が設定する、温室効果ガス排出削減目標のこと。

※6：2015 年に CDP、国連グローバルコンパクト、世界資源研究所および WWF の 4 団体で設立されたイニシアチブ

※7：電力の再生可能エネルギー 100%化を目指す企業で構成される国際的な環境イニシアチブ

当社は、本年 2 月に社会と企業のレジリエンス強化へ向けた新たなビジョン「キリングroup環境ビジョン 2050」を策定しました。気候変動においては、2050 年までにバリューチェーン全体の GHG 排出量ネットゼロを掲げています。本件はこの取り組みの一環であり、当社が脱炭素社会構築へ向けてリードしていくよう取り組んでいきます。

また今回の取り組みで、協和発酵バイオはグローバル・スペシャリティ発酵メーカーとしての事業の持続可能性を強化するとともに、キリングroupの掲げる環境ビジョンの達成へ貢献します。

協和発酵バイオは、ライフサイエンスとテクノロジーの進歩を追求し、新しい価値の創造により、世界の人々の健康と豊かさに貢献します。

キリングgroupは、豊かな地球の恵みを将来にわたって享受し引き継ぎたいという思いを、バリューチェーンにかかわるすべての人々と共につないでいくために、さまざまな社会課題に対する取り組みを積極的に進めています。

<参考>

- ・キリングroup環境ビジョン 2050

<https://www.kirin.co.jp/csv/eco/mission/>

- ・タイにヒトミルクオリゴ糖（HMO）製造設備を新設（2020年11月4日リリース）

https://www.kirinholdings.co.jp/news/2020/1104_03.pdf

- ・キリングroupがRE100に加盟（2020年11月9日リリース）

https://www.kirinholdings.co.jp/news/2020/1109_02.pdf